

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	わんぱくキッズ		
○保護者評価実施期間	2024年6月30日		～ 2024年 7月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2024年 9月 11日		～ 2024年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員全員が保育士、児童指導員、作業療法士、音楽療法士、公認心理士等の資格を持ち、高い専門性によって活動が行われている。	・一人一人の特性を考慮した取り組み。 ・その発達時期に合った、専門的支援をグループで行う。	・活動前のカンファレンス、終了後の反省を丁寧な時間をかけて行っている。
2	・親子通所を原則とするため、常に活動内容を保護者の方にも体験いただいている。	・親子の触れ合いを大切に活動を取り入れている。 ・保護者の方からお申し出があったときにすぐに相談助言(家族支援)を行っている。 ・ペアレントトレーニングや先輩ママとの懇談、保護者同士、相談したり、されたりする会の開催。	・保護者の得意不得意等を考慮して、活動を考えている。
3	・施設の形態が一軒家に近い状態で、入りやすい。庭が広く、夏は大型プールで水遊び、柿の収穫も楽しめる。	・温かい雰囲気を感じられるように環境を整えている。 ・外花壇の手入れや庭の木の消毒等もこまめに行い、安全安心して自然に親しめるようにしている。 ・自然に触れるという点では親子で芋ほりに行き、実際に土やどろ付きの芋に振れ、収穫の喜びを味わう。	・今年度、みかんとブルーベリーの木を植え、来年の収穫に期待したい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・原則親子通園なため、保護者の方に負担がかかる。	・お父さんが慣れてきて、保護者の方が納得できれば単独通所も可能である。多くの場合は幼稚園入園を控えた1月くらいからのご希望が多く、3月に向けて徐々に増やしていく。	・ご家庭の事情による単独通所も考えていく。その場合は職員が一人ついて支援にあたる。
2	・10時～12時の活動時間の為、短時間集中で行っているが、昼食がないので、基本的な生活習慣(食事に関すること、排泄に関すること)の発達の確認が難しい。	・ポータビリティプログラムにおける発達確認では「言語、運動、認知、社会性、身辺自立」と5つの項目での確認事項となっているが、生活習慣等の身辺自立の確認は保護者の方に行ってもらっている。	・幼稚園入園においては食事に関する心配も多く、時間や体制を検討し直して、昼食を食べる日を設定して行くことも考えていきたい。
3			